

Professional Eye

# プロフェッショナルアイ

## ペット保険の現状と展望

はじめに

コロナ禍で、ペットを持つ人が増えている。そのためペット関連市場が拡大傾向にあり、ペット保険もその一つである。

ペット保険の現状を確認するとともに、ペット保険における今後のニーズについて考えてみる。

### 1. ペット市場

(1) ペット数の増加

新型コロナウイルス感染症の拡大により在宅時間が増えた世帯等で、ペットを飼いはじめ始めるケースが増加している。ペットの代表格である犬と猫についてペットフード協会の資料をみると、2021年の犬の新規飼育匹数は約39・7万匹でコロナ禍前より高い水準にあり、猫は48・9万匹で前年より増加した。

飼育匹数は、犬が710・6万匹、猫が894・6万匹で、合計匹数は1600万匹を超えており、1500万人弱の15歳未満の子どもの数を上回っている。

(2) ペットの家族化  
最近のペットを取り巻く環境の特徴である小型化、室内飼育、コンパニオン(伴侶)化によって、ペットが家族化(家族の一員化)している傾向にある。つまりペットは昔の「労働動物(番犬、ネズミ退治等)」「か「愛玩動物(かわいいが対象)」を経て、「コンパニオン動物」へ変化し、今や家族の一員とし

FDSグループ代表

エージェントバンク(FDSグループ) 主任研究員

新型コロナウイルス感染症の拡大により在宅時間が増えた世帯等で、ペットを飼いはじめ始めるケースが増加している。ペットの代表格である犬と猫についてペットフード協会の資料をみると、2021年の犬の新規飼育匹数は約39・7万匹でコロナ禍前より高い水準にあり、猫は48・9万匹で前年より増加した。

飼育匹数は、犬が710・6万匹、猫が894・6万匹で、合計匹数は1600万匹を超えており、1500万人弱の15歳未満の子どもの数を上回っている。

### 2. ペット保険

(1) 取り扱い

ペット保険は損害保険の一つである。21年10月時点で、ペット保険を扱っている損保は5社(アイペット、アクサ、アニコム、au、ペット＆ファミリー)である。また保険金額が損保商品で1000万円まで、死亡保

### 3. ペット市場の現状と展望

(1) ペット市場の現状

日本のペット保険は約30年前から販売され、06年の保険業法改正以降広まった比較的历史の浅い保険商品である。

20年のペット保険の契約件数は約221万件で、19年比116・3%増であった(富士経済)。

また少額短期保険協会の決算概況によれば、少額のペット保険の保有契約件数は20年度末で61万件で、19年度比124%の増加であり、保険料収入は167億円で、前年度比21%増となっている。

他のペット関連市場同様、ペット保険市場も拡大傾向にあるといえるが、その要因として次のようなことが挙げられる。

①治療費の高額化  
また全世帯のうち何もペットを飼っていない世帯が72・4%(ペットフード協会)というデータもある。これらの世帯が今後ペットを飼うようになる可能性も考えられ、それはペット保険市場のさらなる拡大につながる。

吉富明彦

関戸恵子

除金で300万円まで、医療保険で80万円まで、保険期間が生保分野で1年以上、損保分野で2年まで等の制約のある少額短期保険会社(少短)では12社が現在ペット保険を扱っている(ペットメディアカルサポート、楽天、FPC、ペットベスト、イオン、SBIいきいき、SBIプリズム、日本ペット、イーペット、ペットファースト、リトルファミリー、つばき)。

②補償内容  
・更新は終身  
・病気、ケガ  
・ケガのみ  
・通院、入院、手術  
・入院、手術  
・通院、入院

### 4. ペットの家族化で新たなニーズも

ペットには全国民が加入する健康保険のような公的制度がないため、治療費は飼い主の全額負担となる。ペット保険は、基本的にペットが病気やケガで動物病院にかかり治療を受けた場合、その治療費の一部または全部を補償するものであるが、商品内容は各社さまざまである。

①保険対象ペット例  
・犬、猫  
・小動物(フェレット、うさぎ、カメ等)  
・鳥類  
・爬虫類  
・昆虫類

②ペットの対象年齢の例  
・生後45日以上満7歳以下  
・生後120日以上満9歳以下  
・満13歳まで  
・更新は20歳まで  
・更新は終身

③補償内容  
・病気、ケガ  
・ケガのみ  
・通院、入院、手術  
・入院、手術  
・通院、入院

### 5. ペット市場の拡大

日本のペット保険は約30年前から販売され、06年の保険業法改正以降広まった比較的历史の浅い保険商品である。

20年のペット保険の契約件数は約221万件で、19年比116・3%増であった(富士経済)。

また少額短期保険協会の決算概況によれば、少額のペット保険の保有契約件数は20年度末で61万件で、19年度比124%の増加であり、保険料収入は167億円で、前年度比21%増となっている。

他のペット関連市場同様、ペット保険市場も拡大傾向にあるといえるが、その要因として次のようなことが挙げられる。

①治療費の高額化  
また全世帯のうち何もペットを飼っていない世帯が72・4%(ペットフード協会)というデータもある。これらの世帯が今後ペットを飼うようになる可能性も考えられ、それはペット保険市場のさらなる拡大につながる。

### 6. ペット市場の拡大

日本のペット保険は約30年前から販売され、06年の保険業法改正以降広まった比較的历史の浅い保険商品である。

20年のペット保険の契約件数は約221万件で、19年比116・3%増であった(富士経済)。

また少額短期保険協会の決算概況によれば、少額のペット保険の保有契約件数は20年度末で61万件で、19年度比124%の増加であり、保険料収入は167億円で、前年度比21%増となっている。

他のペット関連市場同様、ペット保険市場も拡大傾向にあるといえるが、その要因として次のようなことが挙げられる。

### 7. ペット市場の拡大

日本のペット保険は約30年前から販売され、06年の保険業法改正以降広まった比較的历史の浅い保険商品である。

20年のペット保険の契約件数は約221万件で、19年比116・3%増であった(富士経済)。

また少額短期保険協会の決算概況によれば、少額のペット保険の保有契約件数は20年度末で61万件で、19年度比124%の増加であり、保険料収入は167億円で、前年度比21%増となっている。

他のペット関連市場同様、ペット保険市場も拡大傾向にあるといえるが、その要因として次のようなことが挙げられる。

①治療費の高額化  
また全世帯のうち何もペットを飼っていない世帯が72・4%(ペットフード協会)というデータもある。これらの世帯が今後ペットを飼うようになる可能性も考えられ、それはペット保険市場のさらなる拡大につながる。

### 8. ペット市場の拡大

日本のペット保険は約30年前から販売され、06年の保険業法改正以降広まった比較的历史の浅い保険商品である。

20年のペット保険の契約件数は約221万件で、19年比116・3%増であった(富士経済)。

また少額短期保険協会の決算概況によれば、少額のペット保険の保有契約件数は20年度末で61万件で、19年度比124%の増加であり、保険料収入は167億円で、前年度比21%増となっている。

他のペット関連市場同様、ペット保険市場も拡大傾向にあるといえるが、その要因として次のようなことが挙げられる。

### 9. ペット市場の拡大

日本のペット保険は約30年前から販売され、06年の保険業法改正以降広まった比較的历史の浅い保険商品である。

20年のペット保険の契約件数は約221万件で、19年比116・3%増であった(富士経済)。

また少額短期保険協会の決算概況によれば、少額のペット保険の保有契約件数は20年度末で61万件で、19年度比124%の増加であり、保険料収入は167億円で、前年度比21%増となっている。

他のペット関連市場同様、ペット保険市場も拡大傾向にあるといえるが、その要因として次のようなことが挙げられる。

①治療費の高額化  
また全世帯のうち何もペットを飼っていない世帯が72・4%(ペットフード協会)というデータもある。これらの世帯が今後ペットを飼うようになる可能性も考えられ、それはペット保険市場のさらなる拡大につながる。

### 10. ペット市場の拡大

日本のペット保険は約30年前から販売され、06年の保険業法改正以降広まった比較的历史の浅い保険商品である。

20年のペット保険の契約件数は約221万件で、19年比116・3%増であった(富士経済)。

また少額短期保険協会の決算概況によれば、少額のペット保険の保有契約件数は20年度末で61万件で、19年度比124%の増加であり、保険料収入は167億円で、前年度比21%増となっている。

他のペット関連市場同様、ペット保険市場も拡大傾向にあるといえるが、その要因として次のようなことが挙げられる。

### 11. ペット市場の拡大

日本のペット保険は約30年前から販売され、06年の保険業法改正以降広まった比較的历史の浅い保険商品である。

20年のペット保険の契約件数は約221万件で、19年比116・3%増であった(富士経済)。

また少額短期保険協会の決算概況によれば、少額のペット保険の保有契約件数は20年度末で61万件で、19年度比124%の増加であり、保険料収入は167億円で、前年度比21%増となっている。

他のペット関連市場同様、ペット保険市場も拡大傾向にあるといえるが、その要因として次のようなことが挙げられる。

①治療費の高額化  
また全世帯のうち何もペットを飼っていない世帯が72・4%(ペットフード協会)というデータもある。これらの世帯が今後ペットを飼うようになる可能性も考えられ、それはペット保険市場のさらなる拡大につながる。

### 12. ペット市場の拡大

日本のペット保険は約30年前から販売され、06年の保険業法改正以降広まった比較的历史の浅い保険商品である。

20年のペット保険の契約件数は約221万件で、19年比116・3%増であった(富士経済)。

また少額短期保険協会の決算概況によれば、少額のペット保険の保有契約件数は20年度末で61万件で、19年度比124%の増加であり、保険料収入は167億円で、前年度比21%増となっている。

他のペット関連市場同様、ペット保険市場も拡大傾向にあるといえるが、その要因として次のようなことが挙げられる。

### 13. ペット市場の拡大

日本のペット保険は約30年前から販売され、06年の保険業法改正以降広まった比較的历史の浅い保険商品である。

20年のペット保険の契約件数は約221万件で、19年比116・3%増であった(富士経済)。

また少額短期保険協会の決算概況によれば、少額のペット保険の保有契約件数は20年度末で61万件で、19年度比124%の増加であり、保険料収入は167億円で、前年度比21%増となっている。

他のペット関連市場同様、ペット保険市場も拡大傾向にあるといえるが、その要因として次のようなことが挙げられる。

①治療費の高額化  
また全世帯のうち何もペットを飼っていない世帯が72・4%(ペットフード協会)というデータもある。これらの世帯が今後ペットを飼うようになる可能性も考えられ、それはペット保険市場のさらなる拡大につながる。

### 14. ペット市場の拡大

日本のペット保険は約30年前から販売され、06年の保険業法改正以降広まった比較的历史の浅い保険商品である。

20年のペット保険の契約件数は約221万件で、19年比116・3%増であった(富士経済)。

また少額短期保険協会の決算概況によれば、少額のペット保険の保有契約件数は20年度末で61万件で、19年度比124%の増加であり、保険料収入は167億円で、前年度比21%増となっている。

他のペット関連市場同様、ペット保険市場も拡大傾向にあるといえるが、その要因として次のようなことが挙げられる。

### 15. ペット市場の拡大

日本のペット保険は約30年前から販売され、06年の保険業法改正以降広まった比較的历史の浅い保険商品である。

20年のペット保険の契約件数は約221万件で、19年比116・3%増であった(富士経済)。

また少額短期保険協会の決算概況によれば、少額のペット保険の保有契約件数は20年度末で61万件で、19年度比124%の増加であり、保険料収入は167億円で、前年度比21%増となっている。

他のペット関連市場同様、ペット保険市場も拡大傾向にあるといえるが、その要因として次のようなことが挙げられる。

①治療費の高額化  
また全世帯のうち何もペットを飼っていない世帯が72・4%(ペットフード協会)というデータもある。これらの世帯が今後ペットを飼うようになる可能性も考えられ、それはペット保険市場のさらなる拡大につながる。

### 16. ペット市場の拡大

日本のペット保険は約30年前から販売され、06年の保険業法改正以降広まった比較的历史の浅い保険商品である。

20年のペット保険の契約件数は約221万件で、19年比116・3%増であった(富士経済)。

また少額短期保険協会の決算概況によれば、少額のペット保険の保有契約件数は20年度末で61万件で、19年度比124%の増加であり、保険料収入は167億円で、前年度比21%増となっている。

他のペット関連市場同様、ペット保険市場も拡大傾向にあるといえるが、その要因として次のようなことが挙げられる。

### 17. ペット市場の拡大

日本のペット保険は約30年前から販売され、06年の保険業法改正以降広まった比較的历史の浅い保険商品である。

20年のペット保険の契約件数は約221万件で、19年比116・3%増であった(富士経済)。

また少額短期保険協会の決算概況によれば、少額のペット保険の保有契約件数は20年度末で61万件で、19年度比124%の増加であり、保険料収入は167億円で、前年度比21%増となっている。

他のペット関連市場同様、ペット保険市場も拡大傾向にあるといえるが、その要因として次のようなことが挙げられる。

①治療費の高額化  
また全世帯のうち何もペットを飼っていない世帯が72・4%(ペットフード協会)というデータもある。これらの世帯が今後ペットを飼うようになる可能性も考えられ、それはペット保険市場のさらなる拡大につながる。

**インシュアテックと保険法**  
 新技術で加速する保険業の革新と法の課題  
 吉澤卓哉 京都産業大学教授

フィンテックの保険版=インシュアテックは保険界にどんな変革をもたらす、現行の保険制度に迫る法的問題にいかに対処すべきか? 主要な法的論点を整理検討しこれからの展望する。

ISBN978-4-89293-431-5 (2020年8月刊)  
 ●A5判・208頁 ●定価3,300円(税込)/送料495円(税込)

お申込みはFAXまたはWEBで  
 FAX 03-5816-2863  
 https://www.homai.co.jp/

保険毎日新聞社  
 東京都台東区台東4-14-8  
 シモンパークビル2F  
 TEL 03-5816-2861